

Ⅲ 〔人間健康学部〕履修登録時の留意点

【履修登録時の注意事項】

- ≫各個人において、履修登録ができない科目（配当年次が違う、履修条件を満たしていない等）は画面に表示されません。
- ≫履修登録数が上限に達した科目は表示されません。（対象科目：下記注意事項を参照のこと）
- ≫1年間の履修制限単位を超えて登録できません。
 - 1～3年生…48単位
 - 4年生…44単位
- ≫教職課程、図書館司書課程、日本語教育学課程、その他諸資格取得に必要な科目で単位に含まれない科目は、履修制限単位に含まれません。

その他、履修登録については、2022年度人間健康学部学修ガイドブック「履修科目の登録手続き」を熟読の上、各種項目に留意ください。

履修科目の注意事項

〔履修条件科目〕

科 目	開講 年次	履 修 条 件
図画工作Ⅱ	3	図画工作Ⅰの単位修得者に限る。
器楽Ⅱ	3	器楽Ⅰの単位修得者に限る。
幼児体育Ⅱ	3	幼児体育Ⅰの単位修得者に限る。
健康支援フィールドワーク	3	受講人数を20名程度に制限する。（レクリエーションインストラクター認定資格取得希望者を優先し、抽選等実施可能性あり）
発達支援フィールドワーク	2	受講人数を20名程度に制限する。（抽選等実施可能性あり）
地域・家庭支援 フィールドワーク	3	受講人数を20名程度に制限する。（児童厚生一級指導員認定資格取得希望者を優先し、抽選等実施可能性あり）
保育実習（保育所）Ⅰ 保育実習（施設）Ⅰ	3	「資格課程の履修について」参照。
保育実習（保育所）Ⅱ 保育実習（施設）Ⅱ	4	「資格課程の履修について」参照。
教育実習（幼稚園）Ⅰ 教育実習（幼稚園）Ⅱ	4	「資格課程の履修について」参照。Ⅰは2021年度以降入学生、3年次配当。
児童館実習	3	児童館・放課後児童クラブの機能と運営の単位修得者に限る。
発達支援論Ⅱ	3	発達支援論Ⅰを履修している方が望ましい。
障がい児保育Ⅱ	3	障がい児保育Ⅰを履修している方が望ましい。
保育実習（施設）Ⅱ （b）クラスのみ	4	児童館・放課後児童クラブの機能と運営、児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰの単位修得者に限る。
アスレティックトレーナー 専門実習Ⅰ	1	アスレティックトレーナー概論の単位修得者に限る。
アスレティックトレーナー 専門実習Ⅱ	2	アスレティックトレーナー概論、身体の測定・評価の単位を修得した者、運動器の解剖学、運動器の機能解剖学、アスレティックトレーナー専門実習Ⅰの単位修得者および履修者に限る。
アスレティックトレーナー 専門実習Ⅲ	3	救急処置法、アスレティックテーピング、スポーツコンディショニング、ストレッチング&マッサージ、運動器の解剖学、運動器の機能解剖学、アスレティックトレーナー専門実習Ⅰ・Ⅱの単位を前年度までに修得した者に限る。
アスレティックトレーナー 専門実習Ⅳ	3	スポーツ傷害論Ⅰ、運動器の解剖学、運動器の機能解剖学、アスレティックリハビリテーション論の単位を前年度までに修得した者、スポ

		ーツ傷害論Ⅱ、アスレティックリハビリテーションⅠ、アスレティックリハビリテーションⅡ、アスレティックトレーナー専門実習Ⅲの単位修得者および履修者に限る。
アスレティックトレーナー専門実習Ⅴ	4	アスレティックトレーナー専門実習Ⅲ、アスレティックトレーナー専門実習Ⅳの単位修得者および履修者に限る。
アスレティックトレーナー専門実習Ⅵ	4	アスレティックトレーナー専門実習Ⅲ、アスレティックトレーナー専門実習Ⅳの単位修得者および履修者に限る。
トレーナー活動実習Ⅰ	2	アスレティックトレーナー概論、救急処置法、アスレティックテーピングの単位修得者および履修者に限る。
トレーナー活動実習Ⅱ	3	救急処置法、アスレティックテーピング、スポーツコンディショニング、ストレッチング&マッサージ、運動器の解剖学、運動器の機能解剖学、アスレティックリハビリテーション論、スポーツ傷害論Ⅰ、アスレティックトレーナー専門実習Ⅰ・Ⅱの単位を前年度までに修得した者、アスレティックリハビリテーションⅠ、アスレティックリハビリテーションⅡの単位修得者および履修者に限る。
アスレティックリハビリテーションⅠ	3	アスレティックリハビリテーション論、運動器の解剖学、運動器の機能解剖学、スポーツ傷害論Ⅰの単位を前年度までに修得した者に限る。
アスレティックリハビリテーションⅡ	3	アスレティックリハビリテーションⅠの単位修得者および履修者に限る。
スポーツ傷害の評価	3	運動器の解剖学、運動器の機能解剖学、身体の測定・評価、アスレティックリハビリテーション論、スポーツ傷害論Ⅰの単位を前年度までに修得した者に限る。
スポーツバイオメカニクスⅡ	3	スポーツバイオメカニクスⅠの単位修得者に限る。
保健体育科教育法Ⅱ	2	保健体育科教育法Ⅰの単位修得者に限る。
保健体育科教育法Ⅲ	3	保健体育科教育法Ⅱの単位修得者に限る。
保健体育科教育法Ⅳ	3	保健体育科教育法Ⅲの単位修得者に限る。
健康・スポーツ科学関連の各実習及びスポーツ	1	各授業で最大受講人数が決まっています。履修登録していない学生は、原則受け入れられません。
英語スピーク・インタラクション 3、4	2	英語スピーク・インタラクション1、2の単位修得者に限る。この履修条件はコア上級の学生には適用されない。
応用判断推理	2	判断推理の単位修得者に限る。
応用数的推理	2	数的推理の単位修得者に限る。
西洋文学(a)・(b)	1	受講人数を200人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
食と健康(a)・(b)	1	受講人数を80人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
地学Ⅰ、Ⅱ(a)・(b)	1	受講人数を250人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
西洋史学Ⅰ(a)・(b)、Ⅱ	1	受講人数を200人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
人間関係トレーニング入門	1	受講人数を70人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
人間関係トレーニング応用	2	受講人数を30人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
大学とキャリア	1	受講人数を120人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり) 1年生のみ履修登録可能(2年生以上は受講不可)
仕事とキャリア	2	大学とキャリア、社会とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかの単位修得者に限る。
グローバル・キャリア	1	原則、4年生は受講不可。 受講人数を30人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
インターンシップ	1	原則、4年生は受講不可。 受講人数を70人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
キャリア・フィールドワーク	2	原則、4年生は受講不可。大学とキャリア、社会とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかの単位修得者に限る。 受講人数を30人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
キャリア・プロジェクト	3	原則、4年生は受講不可。大学とキャリア、社会とキャリア、インターンシップ、グローバル・キャリアのいずれかの単位修得者に限る。 受講人数を30人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)

いのちの倫理(a)・(b)	1	受講人数を150人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
人文地理学Ⅰ、Ⅱ(a)	1	受講人数を150人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
環境科学Ⅰ、Ⅱ(a)・(b)	1	受講人数を150人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり)
地域学演習Ⅰ、Ⅱ	2	受講人数を50人程度に制限する。(抽選等実施可能性あり) 久留米学(歴史と環境)または久留米学(文化と社会)の単位修得者もしくは履修中であること。
アカデミックサポーター養成講座Ⅱ(実践編)	2	アカデミックサポーター養成講座Ⅰ(基礎編)の単位修得者であること。
久留米・筑後体験演習(a)・(b)	1	1年生のみ履修登録可能(2年生以上は受講不可)
地域連携特講	1	受講人数を10~20人程度に制限する。
トレーニング科学実習(a)~(f)	1	受講人数を(a)~(d)は20人、(e)(f)は30人に制限する。
運動生理学実習	2	受講人数を20人に制限する。
体力トレーニング実習	3	受講人数を30人に制限する。
器械運動	2	受講人数を40人に制限する。
サッカー(a)・(b)	1	各クラス受講人数を40人に制限する。
野外活動実習Ⅰ/スノースポーツ	2	受講人数を20人に制限する。希望者多数の場合は、GPAにより選考する場合もある
野外活動実習Ⅱ/キャンプ	2	受講人数を30人に制限する。希望者多数の場合は、GPAにより選考する場合もある
<p>※上記一覧は特に注意が必要な事項のみを掲載しております。これ以外の注意事項等については、「開講科目及び授業担当者一覧」の頁、および各講義要項を参照してください。なお、事前登録が必要な科目については履修登録に関する掲示をご確認ください。</p>		